

正しく知りたい！ 感染症

細菌やウイルスによって引き起こされる感染症。特に冬は感染リスクが高いといわれています。正しく知って、しっかりと対策をとりましょう！



きちんと知っていますか？

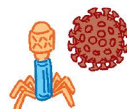
感染症の 基礎知識

原因となる病原体はさまざま

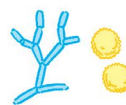
感染症の原因は、ウイルスや細菌、真菌(カビ)などの病原体です。その種類によって、流行しやすい時季や感染経路などはさまざま。冬に限らず、日頃から意識しておくことが大切です。



細菌



ウイルス



真菌(カビ)

もう一度しっかりとおさらいしましょう！

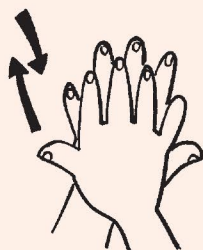
正しい手の洗い方

①



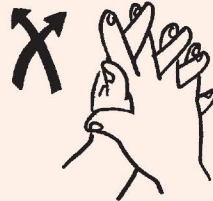
水で濡らして石けん等を泡立て、手のひら同士をこすり合わせます。

②



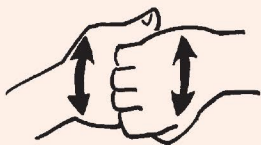
右手のひらを左手の甲に当て、指を組み合わせて洗います(逆の手も同様に)。

③



手のひら同士を合わせ、指を組み合わせてこすります。

④



連結器のように組み合わせて、指の甲側を反対の手のひらでこすります。

⑤



右手で左の親指を握り、回転させながらこすります(逆の手も同様に)。

⑥



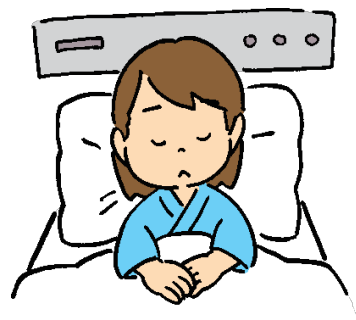
指先を手のひらの中で前後させたり回転させたりしてこすります(逆の手も同様に)。その後、しっかりと洗い流しましょう。

アルコールで手指を消毒するときも手順は同じです。ていねいに行いましょう。

知っておきたい

病院の感染対策

病院内では、抗菌薬（抗生物質）が効かない薬剤耐性菌による感染への対策が必要となります。病気や治療によって免疫機能が低下していると病原性の弱い菌にも感染しやすくなるため、病院は、日頃からさまざまな感染対策を実施しています。



病院での主な感染対策

手指衛生の徹底

アルコール清拭による
室内・検査機器等の消毒

薬剤耐性菌の監視と
発生時の対応



マスク等の着用

ドア・窓の開放等による換気

スタッフの健康管理
(検温・体調チェック)

兵庫医科大学病院は

こんなことに

力を入れています！

Clean hand キャンペーンによる 手指衛生の管理・啓発を行っています

院内感染を起こさないための平時の備えとして、最も効果的ながら最も難しいとされるのが手指衛生の徹底です。当院では、手洗いやアルコール消毒のタイミング・手技を啓発する「Clean hand キャンペーン」を定期的実施。全スタッフの9割以上という参加状況に、感染制御に対する当院スタッフの意識の高さが表れています。



患者さんの安心・安全のため、 紫外線照射ロボットを導入しました

当院では、紫外線によってウイルスや薬剤耐性菌を消毒できる「紫外線照射ロボット」を導入しています。このロボットにより、個室で管理している耐性菌を有する患者さんが入れ替わる際に、環境消毒を実施。安心して入院治療に専念していただける環境を整えています。



感染対策チームが 毎日病棟に足を運んでいます

感染対策チーム (ICT) は、医師、看護師、薬剤師、検査技師など多職種からなる専従チームです。毎日病棟に足を運び、医療現場の最前線でそれぞれの専門性を生かしながら、感染予防・制御に努めています。



兵庫医科大学病院 感染制御部

院内感染を未然に防ぎ、患者さんやそのご家族をはじめ病院に関わるすべての人たちが安心できる環境を整えるために活躍しているのが感染制御部です。兵庫医科大学病院では、専従のスタッフを中心に、さまざまな取り組みを行っています。



感染症から
患者さんやご家族、
地域を守る仕事です

たけすえ よしお
竹末 芳生 主任教授

当院の感染制御部は、全国の病院の中でも先行して、専従のスタッフによる積極的な取り組みを行ってきました。

感染症の治療には抗生物質が用いられることがありますが、特定の抗生物質ばかりを使用していると、この薬が効果を示さない細菌（薬剤耐性菌）が出現することがあります。感染症の治療効果を高めるために抗生物質の使用法を指導するだけでなく、薬剤耐性菌の出現を抑えるため、薬の使用状況をモニタリングし、バランスのとれた抗生物質の使い方を指示するなどの活動を実施しています。

また、病院間で患者さんの行き来があるため、地域全体での取り組みも非常に大切です。行政と連携してネットワークをつくり、情報交換や教育などの活動を中心とした地域全体での薬剤耐性菌への対策を兵庫医科大学病院がリードしています。

